

「夢見る少年」

(山口 民雄 伝道師)

【聖書のみことば】 創世記 37 章 1-8 節

- 1 ヤコブは、父が一時滞在していた地、カナンの地に住んでいた。
- 2 これはヤコブの歴史である。
ヨセフは十七歳のとき、彼の兄たちと羊の群れを飼っていた。彼はまだ手伝いで、父の妻ビルハの子らやジルパの子らといっしょにいた。ヨセフは彼らの悪いうわさを父に告げた。
- 3 イスラエルは、彼の息子たちのだれよりもヨセフを愛していた。それはヨセフが彼の寄り子であったからである。それで彼はヨセフに、そでつきの長服を作ってやっていた。
- 4 彼の兄たちは、父が兄弟たちのだれよりも彼を愛しているのを見て、彼を憎み、彼と穏やかに話すことができなかった。
- 5 あるとき、ヨセフは夢を見て、それを兄たちに告げた。すると彼らは、ますます彼を憎むようになった。
- 6 ヨセフは彼らに言った。「どうか私の見たこの夢を聞いてください。
- 7 見ると、私たちは畑で束をたばねていました。すると突然、私の束が立ち上がり、しかもまっすぐに立っているのです。見ると、あなたがたの束が回りに来て、私の束におじぎをしました。」
- 8 兄たちは彼に言った。「おまえは私たちを治める王になろうとするのか。私たちを支配しようとも言うのか。」 こうして彼らは、夢のことや、ことばのことで、彼をますます憎むようになった。